

地域に役立つ病院に

医療設備をさらに充実

質の高い治療を提供する

がん診療連携拠点病
院指定の濟生会今治
病院は、昨年クラウ
ドファンディングを行
い、手術支援ロボット
「ビノトリ」を導入。今
年からロボット手術が
始まります。泌尿器科
射線治療装置の導入も
決まっています。

「ビノトリ」を導入。今
年からロボット手術が
始まります。泌尿器科
射線治療装置の導入も
決まっています。

「ビノトリ」を導入。今
年からロボット手術が
始まります。泌尿器科
射線治療装置の導入も
決まっています。



▲今年の展望を話す松野院長

新たに導入の機器

手術支援ロボットビノトリ

MRI

リニアック放射線治療装置

さらにゴールデン
ウィーク明けには、部
分切除したがんの治療
で余分なところに放射
線があたらない、リニ
アック放射線治療装置
も新しくなり、今まで
以上に他の臓器に負担
をかけない治療ができ
るようになります。

今年7人の研修医
や9人の看護師も来る
ことが決まっている同
院。「皆さまのおかげ
で手術支援ロボットも
導入することができま
した。これからも働き
方改革や教育にも力を
入れていき、地域のた
めになる病院にしてい
きます」と松野副院長
は話しています。